



## 子どもたちの中の伝統

校長 安澤 たい子

11月が過ぎ、もう2学期最後の月に入りました。これからは、どんどん寒くなりま  
すし、学期末のまとめに向けて気忙しくなっていきます。

11月の桜っ子児童会の恒例行事として、「桜っ子読書会」と「桜っ子フェスティバル2021」がありました。どちらも、子どもたちにとって楽しみにしていた、そして、本当に楽しかった大切な行事です。

下の写真は、「桜っ子読書会」で桜っ子班の5・6年生が、1・2・3・4年生に向けて読み聞かせをしているところです。各教室に分かれて行いました。当日まで、5・6年生は、担当職員からこの読書会の目的や方法、気を付けること等を聞き、市立図書館から借りてきた、たくさんの本に目を通し、班ごとに相談してどの本を読むか決めました。その後、本番に向けて上手に読めるよう練習を重ねたのは、言うまでもありません。大きい本や縦に長い本を選ぶ、役割分担しての読み方、本の内容に関するクイズと、いろいろな工夫を凝らして、楽しい読書会を行っていました。どの教室をのぞいても、じっくり聞き入っていたり、積極的にクイズの答えを考えて言おうとしたりしていて、豊かな時間をともに過ごしていることが伝わってきました。

5・6年生は、自分たちの取組の成果を感じたり、達成感を味わったりしたことでしょう。1・2・3・4年生は、5・6年生の力を感じ取り、憧れや目標、感謝等で心の中がいっぱいになったと思います。こうして、その年の6年生になる子どもたちが中心となり、加治川小学校の伝統のひとつである「桜っ子読書会」を確かに行き、引き継いできました。これからもこの歩みを大切に進めていってほしいと願っています。



### PTCA 学年文庫

PTCA 学年行事ができない代わりに、その予算で学年委員の皆さんが、それぞれの学年の子どもたち用の本を選んで購入しました。これから教室前に置き、読んでいきます。ありがとうございました。